

価値創造型企業支援研究所

更新 2025.3.31

価値創造型企業支援研究所

Institute to support the value-creating company



社 名 創研テクノロジー

住 所 〒168-0062 東京都杉並区方南 1-46-2

問い合わせ 電話 03-5932-1051 FAX 03-5932-1051

メール sakurai@tk.jue.ac.jp

代表者（所長） 櫻井敬三

目 次

お知らせ・ご案内・ご報告	1~2	ページ
本研究所の研究から出版された図書	3~4	ページ
研究所のご紹介	5	ページ
2025年 計画と活動（予定）	6	ページ
2024年 計画と活動（終了）	7	ページ
2023年 計画と活動（終了）	8	ページ
2022年 計画と活動（終了）	9	ページ
2021年 計画と活動（終了）	10	ページ
2020年 計画と活動（終了）	11	ページ
2019年 計画と活動（終了）	12	ページ
2018年 計画と活動（終了）	13	ページ
2017年 計画と活動（終了）	14~15	ページ
2016年 計画と活動（終了）	16~17	ページ
2015年 計画と活動（終了）	18~21	ページ
2014年 計画と活動（終了）	22~25	ページ
2013年 計画と活動（終了）	26~28	ページ
2012年 計画と活動（終了）	29	ページ

お知らせ

当研究所は2012年9月から開設された日本経済大学 大学院 経営学研究科の附属研究所で、大学院教授の櫻井が開いたプロジェクト型研究所である。2018年3月に櫻井が特任教授になり、研究所は1度閉所し、2018年11月より上記法人下で再開した。

ご報告

報告 1 : 図書の発刊

- ① 所長図書「ファジーフロントエンド活動による技術革新創成」が日本創造学会著作賞（2017-2018）」を受賞しました。（2019年6月）
- ② 所長図書「イノベーション創成の研究開発マネジメント」が日刊工業新聞（2019年5月24日）「話題の本」で紹介されました。
- ③ 所長図書「イノベーション創成の研究開発マネジメント」が事業構想（2019年7月号）「今月の注目の3冊」で紹介されました。
- ④ 所長図書「イノベーション創成の研究開発マネジメント」が紀伊国屋新宿店にて平置きで販売されていました。経営行動研究学会の友人が写メール添付してくれました。



- ⑤ 所長図書「イノベーション実現のための価値分析のすすめ」が日刊工業新聞（2020年1月24日）「話題の本」で紹介されました。

報告 2 電子図書の発刊

- ① 所長著書「ファジーフロントエンド活動による技術革新創成」の電子版がディスカヴァー・トゥエンティワン社からディスカヴァーebook 選書として発刊されました。（2022年6月1日）
- ② 所長図書「イノベーション実現のための価値分析のすすめ」の電子版がディスカヴァー・トゥエンティワン社からディスカヴァーebook 選書として発刊されました（2022年8月1日）
- ③ 所長図書「イノベーション創成の研究開発マネジメント」の電子版がディスカヴァー・トゥエンティワン社からディスカヴァーebook 選書として発刊されました。（2022年11月1日）

報告 3 図書の発刊

- ① 共著「分析経営から創造的経営へ -脱・失われた30年への処方箋-」（2023年10月12日）

報告 4 アマゾン社からPOD（プリント オン デマンド）版で発刊（2025年1月）

- ① 所長著書「イノベーション創成の研究開発マネジメント」（文真堂）が完売に伴いPOD版で再発刊

本研究所の研究から出版された図書

2025年1月現在で9冊目発刊。単著7冊、共著2冊

「ファジーフロントエンド活動による技術革新創成」

電子版あり(報告2参照)



真に革新的な製品・サービスの多くはマーケットインや最先端技術獲得からは生み出されていない。アイデア発想→コンセプト形成→フィジビリティスタディと活動計画策定が重要である。創造的チーム活動と創造的研究技術者を生み出す決め手、ファジーフロントエンド(開発前)活動を事例と実証データから解説する実務家にも役立つ学術書。

櫻井敬三著 2017年1月10日発刊 文眞堂
日本創造学会 2017年・2018年著作賞受賞(2019年6月)

「成功に導く中小製造企業のアジア戦略」



縮小する日本市場か?アジア発展途上国へ展開するか?アジアの10カ国進出中小製造企業インタビュー調査の結果で明らかになった知見を基に、多様な観点から中小製造企業の成長を導くためのアジア戦略を検証する。

櫻井敬三・高橋文行・黄八洙・安田知絵 著
2017年9月30日発刊 文眞堂

中小企業支援研究 Vol.5 pp.58-59 書評 藤川信夫
千葉商科大学(2018年3月31日)

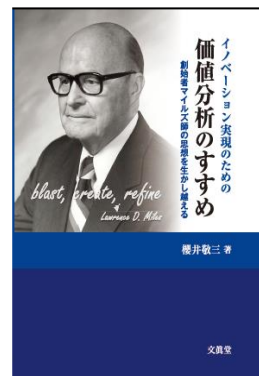
「イノベーション創成の研究開発マネジメント」



日本の技術革新がうまくいっていない。オープンイノベーションや外部依存研究開発で乗り切れるのだろうか。本書は「①真の研究開発とは、②イノベーションを育てる組織とは、③技術リーダー戦略とは、④イノベーション創成戦略と研究開発事業化戦略とは」をわかりやすい事例で解説する。本書は経営者、研究開発責任者・担当者に読んで実践いただきたい。

櫻井敬三著 2019年2月28日発刊 文眞堂
日刊工業新聞(2019年5月24日)「話題の本」で紹介
事業構想(2019年7月号)「今月の注目の3冊」で紹介

「イノベーション実現のための価値分析のすすめ」 -創始者マイルズ師の思想を生かし越える-



価値分析の創始者ローレンス・D・マイルズを師と仰ぐ筆者が、師との交流による学びから自らの経験事例を癒ささせたエッセイである。

日本初公開のVA図書の翻訳も掲載し、マイルズ師の価値分析思想(破壊し、創造し、洗練化せよ)の実践でイノベーションが実現できる。

櫻井敬三著 2019年8月31日発刊 文眞堂
日刊工業新聞(2020年1月24日)「話題の本」で紹介

電子図書「ファジーフロントエンド活動による技術革新創成」が2022年6月1日発刊

Amazon: https://www.amazon.co.jp/dp/B0B2R1CX99/ref=dp-kindle-redirect?_encoding=UTF8&btkr=1

楽天 kobo: <https://books.rakuten.co.jp/rk/3bf258ad64563e9a8098aa51c0ac83fa/?l-id=search-c-item-img-54>

BOOKWALKER: <https://bookwalker.jp/de707b409c-6d8f-41fd-9c4d-4f28c7d9bc2c/>

Honto: https://honto.jp/ebook/pd_31738471.html

7net: <https://7net.omni7.jp/detail/5111000406>



電子図書「イノベーション実現のための価値分析のすすめ」が2022年8月1日発刊

Amazon: <https://www.amazon.co.jp/ebook/dp/B0B8C8ZCT4/ref>

楽天 Kobo: <https://books.rakuten.co.jp/rk/2b56a81b66e0358db6ea6181e0c83fed/>

BOOK☆WALKER: <https://bookwalker.jp/de06bbc389-b426-4c73-9cb4-5a09cffd12cc/>

Honto: https://honto.jp/netstore/pd-book_29796991.html?cid=ip_ecpd_author_01

7net: <https://7net.omni7.jp/detail/5111029610>



電子図書「イノベーション創成の研究開発マネジメント」が2022年11月1日発刊

Amazon: <https://www.amazon.co.jp/dp/B0BL78Z35M/>

楽天 Kobo: <https://books.rakuten.co.jp/rk/8cb3c3f47e453e68a3a277733b2e32ae/?l-id=search-c-item-img-01>

BOOK☆WALKER: <https://bookwalker.jp/series/384572/list/>

Honto: https://honto.jp/ebook/pd_32081592.html

7net: <https://7net.omni7.jp/detail/5111073900>



その他、上記の電子図書をご購入いただけるサイトは下記のとおりです。

Kindle・コミックシーモア・dブック・ひかりTVブック・DMM.com・紀伊國屋 kinoppy・COCORO BOOKS・honto・BOOK☆WALKER・auブックライブ・auブックパス・Reader Store・U-NEXT・楽天 Kobo・ebookjapan・漫画全巻ドットコム・Renta!・セブンネットショッピング・ヨドバシ.com

「分析経営から創造的経営へ」

—脱・失われた30年への処方箋—



これからの中小製造企業には、『**基本理念を維持しながらイノベーションを連続的に生み出し続ける仕組みづくりが必要**』と説く。そのためには、①必要なモノを必要だけ作る（受注生産）、②社会に目配りして作る（社会課題を事業化）、③真のパートナーシップで作る（脱下請）、④真の顧客価値を実現するモノを作る（高付加価値化）ことが出発点となる。

櫻井敬三・高橋文行・藤井享・真崎貴・山田善教・渡邊惠著 2023年10月12日発刊 文真堂

価値創造型企業支援研究所のご紹介

2025年3月31日部分修正

当研究所は2012年9月から開設された日本経済大学 大学院 経営学研究科の附属研究所で、大学院教授の櫻井が開いたプロジェクト型研究所である（教授2名・特任教授（准）5名、研究員6名）。その後、2018年3月に櫻井が特任教授になり研究所は1度閉所し、2018年11月より創研テクノロジー配下再開した。なお法人の代表者は櫻井敬三です。変更箇所には★を付けます。（2018年度以降は、所員はジョブ対応でご依頼することに変更しました。）

発足：趣旨『日本企業が元気を取り戻す手立てを企業とともに考え実行支援するプログラムを策定しその支援（育成）を行う。』ことである。この目的を逸脱することなく継続的な研究、調査、研究会活動、委託研究等を行い、その成果をタイムリーに発表していく予定である。

研究調査： 研究所員と他研究機関研究者と一緒に研究調査しています。

- （1）中堅・中小企業の自主独立開発型企業への脱皮プログラムの策定と支援
- （2）中小製造企業を成功に導く海外進出の国際戦略
- （3）創造的社員育成や創造的組織構築の基礎的研究とプログラム策定と支援

研究会： 自由参加・無料で実施しています。（★現在新たな研究会はありません。）

- （1）その他組織との共催 イベント （幹事：櫻井）

委託研究： 契約に基づき対応しています。

- （1）価値創造型企業を対象に「事業計画支援」コンサルティング （2018年11月から開始）
- （2）VEワークショップセミナー開講（VE-WS認定コース） （2012年10月から開始）
- （3）研究開発マネジメント講座（2023年度から相談会方式へ） （2021年度から開始）
- （4）エンジニアリングのための創造活動相談会 （2022年度から開始）
- （5）その他（上記以外のセミナー、講演、無料相談など）

執筆活動： 過去実施・検討したデータに基づき、図書出版や今まで控えたメディアへの論考・エッセイ記事などを執筆予定です。

ロゴ説明：



《ロゴ①（左のA4サイズロゴ）》
知恵を象徴する鳥（フクロウ）と
厳しい環境に耐える種子（松かさ）
をバックに据え、価値創造型企業
が足腰の強い企業になることを
めざしそのために知恵を発揮する
ことの重要性を示しました。
《ロゴ②（1ページの細長いロゴ）》
文章中記載用で主旨は同じです。

その他： 以下 2012年発足からの当研究所の「計画と活動の概要」を記します。

2025年計画と活動（予定）

2025年3月31日現在

《研究所組織》 所員は、ジョブ対応でご依頼することとします。したがって、本研究所主催または監修での企画・出版などのイベントごとに特任研究員となっていただきます。

《2024年活動あらまし予定》

- ・ 研究調査
 - ・ 中小製造企業の発展技術力構築のメカニズム研究（代表研究者 櫻井敬三）

- ・ 研究会
 - ・ 未定

- ・ 委託研究
 - ・ 価値創造型企業を対象に「事業計画支援」コンサルティング活動 1社支援予定

- ・ 海外研究調査
 - ・ 海外大学・企業からの要請があれば、訪問する予定

- ・ 相談会
 - ・ 逐次要請あれば対応予定

- ・ 価値分析講座／研究開発マネジメント講座（2024年度から当面中止中）
 - ・ なお、価値分析講座／研究開発マネジメント講座／エンジニアリングのための創造活動相談会は、要望あれば個別に対応予定。

2024年計画と活動（終了）

2025年3月31日現在

《研究所組織》 所員は、ジョブ対応でご依頼することとします。したがって、本研究所主催または監修での企画・出版などのイベントごとに特任研究員となっていただきました。

《2024年活動あらまし予定》

・ 研究調査

- ・ 中小製造企業の発展技術力構築のメカニズム研究（代表研究者 櫻井敬三）

・ 研究会

- ・ 実施されませんでした。

・ 委託研究

- ・ 価値創造型企業を対象に「事業計画支援ほか」コンサルティング活動 2社支援

・ 海外研究調査

- ・ 実施されませんでした。但し9月19・20日台湾・台北で開催の『2024年 台日科学技術フォーラム』にオンラインで参加。テーマは『AIと半導体がリードする産業の革新』

・ 相談会

- ・ リアル面接・Zoom対応。1年間でジョブは十数回ありました。（都度その場で完結方式）
なお、価値分析講座／研究開発マネジメント講座／エンジニアリングのための創造活動相談は上記の十数件中約半数でした。

・ 講演会

- ・ 「我が人生を振り返って」 等価変換創造学会東京例会 3月2日（2023年度活動）
- ・ 「脱・失われた30年への処方箋」 等価変換創造学会東京例会 3月2日（収録画像90分版）
- ・ 「社会貢献する価値創造に向けて -脱・失われた30年への処方箋-」（公）日本VE協会
西日本支部 5月13日（Web開催）（収録画像60分版）
- ・ 「『顧客満足』の提供が大切」 日本経済大学大学院 10月14日（収録画像30分版）

注記：講演会は2023年度3月実施分も記載。

なお主催者ご厚意で収録画像いただきHPユーチューブ上に掲載中。

2023年計画と活動（終了）

2024年3月31日

《研究所組織》 所員は、ジョブ対応でご依頼することとします。したがって、本研究所主催または監修での企画・出版などのイベントごとに特任研究員となっていただきました。

《2023年活動あらまし》

・ 研究調査

- ・ 中小製造企業経営者の創造的課題解決を生み出すセオリー研究（代表研究者 櫻井敬三）

・ 研究会

- ・ Next Management展望研究会 オンラインにて6か月連続開催（幹事 山田/櫻井）

6/24 自主独立型企业へのお誘い講座① 6名参加

櫻井先生発表 中堅・中小企業はこれから日本をリードする

7/22 自主独立型企业へのお誘い講座② 8名参加

櫻井先生発表 イノベーションを創出するにはまず何をすべきか

9/2 自主独立型企业へのお誘い講座③ 9名参加

藤井先生発表 必要なモノを必要なだけ作るとは

9/30 自主独立型企业へのお誘い講座④ 9名参加

真崎氏/櫻井先生発表 下請業務からの訣別

10/28 自主独立型企业へのお誘い講座⑤ 9名参加

渡邊氏発表 高付加価値化のために何をすべきか

11/25 自主独立型企业へのお誘い講座⑥ 12名参加

高橋先生発表 社会貢献のための取り組み

櫻井先生発表 画期的な革新の進め方

山田先生発表 自主独立型企业への旅たち

- ・ FFE(ファジー フロント エンド)に関する研究についての討議 9/14（幹事 櫻井）

長平彰夫先生(立命館大学大学院) 小具龍史先生(二松舎大学)

小久保雄介先生(日本文理大学) 櫻井敬三先生(日本経済大学大学院)

・ 委託研究

- ・ 価値創造型企業を対象に「事業計画支援」コンサルティング活動 4社支援

・ 海外研究調査

- ・ 台湾製造業におけるクラスターとものづくり革新ほか (9/5 日本国 学士会館にて)

劉仁傑先生(台湾東海大学経営工学部) 櫻井敬三先生(日本経済大学大学院)

- ・ (公)神奈川産業振興センター主催 ベトナム投資環境視察ミッション2023に参加

2023年11月13日～18日 訪問地：ベトナム国ホーチミン市・ハノイ市

- ・ エンジニアリングのための創造活動 相談会 7社から相談有。個別対応。

・ 図書出版

「分析経営から創造的経営へ」-脱・失われた30年への処方箋- 文真堂 2023年10月12日発刊

櫻井敬三・高橋文行・藤井享・真崎貴・山田善教・渡邊恵 共著

2022年計画と活動（終了）

2023年3月31日

《研究所組織》 所員は、ジョブ対応でご依頼することとします。したがって、本研究所主催または監修での企画・出版などのイベントごとに特任研究員となっていただきました。

《2022年活動あらまし》

・ 科研費関係研究

1. 櫻井敬三（代表研究者）中小製造企業の自主独立型企业への脱皮のための他社との技術関係性構築に関する研究 単独実施（18K01827）

2. 高橋文行（代表研究者）アジア展開における中小企業の経営自立化のメカニズム研究
共同研究者 当研究所長 櫻井敬三・日本大学 安田知絵（18K01783）

※ 1項・2項とも、2023年3月で終了した。今後学会発表・図書等にて成果発表予定。

・ 研究会

1. Next Management展望研究会 オンラインにて毎月開催（幹事 山田/櫻井）

4/30 全体討議『課題解決の画期的な手順』

櫻井先生発表『日本の中小製造企業の立ち位置別行動相違分析』

6/11 櫻井先生発表『課題解決の画期的な手順 -情報・モノ・サービス・価値の流れ-』

渡邊氏発表『高付加価値化の実現』

7/23 全体討議『高付加価値化の実現』

真崎氏発表『パートナーシップ生産の実現』

9/4 全体討議『パートナーシップ生産の実現』

藤井先生発表『必要なものを必要な時に生産(受注生産)』

10/29 全体討議『必要なものを必要な時に生産(受注生産)』

高橋先生発表『社会目配り生産』

櫻井先生発表『課題解決の画期的な手順-創造活動をする前にビジョンを明確化せよ』

11/20 全体討議『社会目配り生産』と『課題解決の画期的な手順』

櫻井先生発表『停滞30年の付けは日本を滅ぼしかねない 何が問題でどうすべきか』

12/25 全体討議『高付加価値化の実現』

櫻井先生発表『日本は何が問題で何をどうすべきか』

1/21 全体討議 ファイナルレビュー(1)

2/25 全体討議 ファイナルレビュー(2)

3/19 全体討議 ファイナルレビュー(3)（今回が50回目の研究会でした）

・ 委託研究

1. 価値創造型企業を対象に「事業計画支援」コンサルティング活動 2社支援

・ 海外研究調査

コロナウイルス禍のため、一切の海外渡航はできませんでした。

・ 価値分析講座

9月にオンラインにて2会合で3名参加

・ エンジニアリングのための創造活動 相談会 11社から相談有。個別対応。

2021年計画と活動（終了）

2022年3月31日

《研究所組織》 所員は、ジョブ対応でご依頼することとします。したがって、本研究所主催または監修での企画・出版などのイベントごとに特任研究員となっていただきました。

《2021年活動あらまし》

・ 科研費関係研究

1. 櫻井敬三（代表研究者）中小製造企業の自主独立型企业への脱皮のための他社との技術関係性構築に関する研究 単独実施（18K01827）

※ 4月までアンケート調査を継続実施。その結果を学会発表。1年間研究延長を申請。

2. 高橋文行（代表研究者）アジア展開における中小企業の経営自立化のメカニズム研究
共同研究者 当研究所長 櫻井敬三・日本大学 安田知絵（18K01783）

※ アンケート実施準備もアンケート先確定できずに不実施。1年間研究延長を申請。

・ 研究会

1. Next Management 展望研究会 4月よりオンラインにて9回開催（幹事 山田/櫻井）

4/17 高橋先生発表『ニューノーマル時代の企業戦略』

櫻井先生発表『日本人よ謙虚になれ-真面な経営をしているアマゾン-』

5/22 全体討議『経営戦略意義, 企業価値向上, CSV戦略工夫, 新価値創成メカニズム』

6/19 全体討議『価値について, 不確実性社会の対応策, 中小企業と大企業の戦略の相違』

8/14 全体討議『ここまでの討議を踏まえ「日本の製造業が生き延びるにはどうするか」』

9/25 櫻井先生発表『日本の中小製造企業のアンケート調査結果(企業行動分析からの示唆)』

11/13 山田先生発表『東大藤本先生提唱のインテグラルアーキテクチャー論について』

12/18 全体討議『藤井・高橋・櫻井からの新たな視点の提言を基に討議』

2/12 全体討議『渡邊・真崎からの新たな視点の提言を基に討議』

3/19 山田先生発表『西洋哲学と日本文化の相違からの経営戦略の立て方の相違』

全体討議『ここまでの活動と今後の活動の方向性』

2. Asia Business 研究会 テーマを再考し実施予定（幹事 高橋）

※コロナウイルス禍であり、実施できませんでした。

・ 委託研究

1. 価値創造型企業を対象に「事業計画支援」コンサルティング 活動

2 社支援

・ 海外研究調査

コロナウイルス禍のため、一切の海外渡航はできませんでした。

・ 価値分析講座

2020年度に引き続き実施。5月, 9月, 1月にオンラインにて各2会合で各回3~5名参加

・ 研究開発マネジメント講座

2021年度新規開催。7月, 11月にオンラインにて各3会合で各回6~10名参加

2020年計画と活動（終了）

2021年3月31日

《研究所組織》 所員は、ジョブ対応でご依頼することとします。したがって、本研究所主催または監修での企画・出版などのイベントごとに特任研究員となっていただきました。

《2020年活動あらまし》

・ 科研費関係研究

1. 櫻井敬三（代表研究者）中小製造企業の自主独立型企业への脱皮のための他社との技術関係性構築に関する研究 単独実施（18K01827）
※ 12月に技術志向の中小製造企業にアンケート調査を実施。その結果を分析中である。
2. 高橋文行（代表研究者）アジア展開における中小企業の経営自立化のメカニズム研究
共同研究者 当研究所長 櫻井敬三・江戸川大学 安田知絵（18K01783）
※ 1項・2項とも、コロナ感染禍による国内外の企業訪問できず、1年間研究延長を申請。

・ 図書出版

日本の価値創造型中堅・中小企業の新たなマネジメントや活動の在り方を 研究調査データに基づきまとめた図書を出版予定であったが、上記研究が実施できず出版はできませんでした。

・ 研究会

1. Next Management展望研究会 6月よりオンラインにて7回開催（幹事 山田/櫻井）
6/20 櫻井発表『美的価値とは何か（オリジナリティーを評価する）』
7/25 藤井先生発表『IoTデジタル化時代の総合電機メーカーのサービス戦略モデル』
9/19 高橋先生発表『ポストコロナの企業経営』
10/30 山田先生発表『日本の競争戦略』
11/28 高橋先生発表『中小企業における中国ビジネスの展開』
櫻井発表『過去の研究開発結果をどのように新たに活動する別研究開発に生かすべきか』
2/6 安田先生発表『メコン流域における中国広西・雲南の経済的役割(貿易データによる分析を中心に)』
3/27 山田・櫻井先生発表『NM展望研究会のこれまでの活動報告（4.5年間）』
櫻井発表『日本経済の動向と日本企業の経営課題 データから読み取る』

2. Asia Business 研究会（幹事 高橋）

コロナウイルス禍であり、実施できませんでした。

・ 委託研究

1. 価値創造型企業を対象に「事業計画支援」コンサルティング 活動
2社支援

・ 海外研究調査

コロナウイルス禍のため、一切の海外渡航はできませんでした。

なおタイと台湾の各大学教員とオンラインによる情報交換を行いました。

・ 価値分析講座

- 7月、11月、3月に開催した。各2時間×3回（オンライン開催）とし、内容は①価値分析、②創造開発、③ビジネスイノベーション実現の秘訣でした。各回6～7名参加

2019年計画と活動（終了）

2020年3月31日

《研究所組織》 所員は、今後はジョブ対応でご依頼することとします。したがって、本研究所主催・または監修での企画・出版などのイベントごとに特任研究員となっていただきました。

《2019年活動あらまし》

・ 科研費関係研究

3. 櫻井敬三（代表研究者）中小製造企業の自主独立型企业への脱皮のための他社との技術関係性構築に関する研究 単独実施（18K01827）
4. 高橋文行（代表研究者）アジア展開における中小企業の経営自立化のメカニズム研究
共同研究者 当研究所長 櫻井敬三・江戸川大学 安田知絵（18K01783）

※ 1項・2項とも、2年度目活動で今後2年間の研究活動となります。

・ 図書出版

1. 「イノベーション実現のための価値分析のすすめ
—創始者マイルズ師の思想を生かし越える—」 文真堂 2019年8月30日発刊
※ 本研究所長 櫻井敬三 単著

・ 研究会

1. Next Management展望研究会 通年で6回実施（幹事 山田/櫻井）
5/18 櫻井発表『イノベーション創成の研究開発マネジメント』
6/29 渡邊氏発表『現代貨幣論』、山田先生発表『江戸から見た日本経済の行方』
9/14 山田先生発表『アダムスミスの道徳感情論』、真崎氏発表『近江商人の三方よし』、
櫻井発表『世界の宗教概要』
11/9 蔡氏発表『日本国における健康格差』、櫻井発表『100円ショップの功罪』
12/21 山田先生発表『マイケル・ポータの日本の競争力の源泉（Ⅰ）』、
高橋先生発表『中国のIT進化』
1/25 山田先生発表『マイケル・ポータの日本の競争力の源泉（Ⅱ）』、
櫻井発表『マイルズの価値分析の本質的捉え方』
(2/22 開催予定であったが、新型コロナウイルス感染予防のため中止した。)

・ 委託研究

1. 価値創造型企業を対象に「事業計画支援」コンサルティング 活動
2社支援

・ 海外研究調査

- ・ カンボジア、タイ（2回）、ベトナム、台湾（2回）、中国

2018年計画と活動（終了）

2019年3月31日

《研究所組織》 所員は、今後はジョブ対応でご依頼することとします。したがって、本研究所主催・または監修での企画・出版などのイベントごとに特任研究員となっていただきました。

《2018年活動あらまし》

・ 科研費関係研究

5. 櫻井敬三（代表研究者）中小製造企業の自主独立型企业への脱皮のための他社との技術関係性構築に関する研究 単独実施（18K01827）
6. 高橋文行（代表研究者）アジア展開における中小企業の経営自立化のメカニズム研究
共同研究者 当研究所長 櫻井敬三・江戸川大学 安田知絵（18K01783）

※ 1項・2項とも、初年度活動で今後3年間の研究活動となります。

・ 図書出版

1. 「イノベーション創成の研究開発マネジメント」文真堂 2019年2月28日発刊

※ 本研究所長 櫻井敬三 単著

事業構想（2019年7月号）「今月の注目の3冊」で紹介されました。

日刊工業新聞（2019年5月24日）「話題の本」で紹介されました。

・ 研究会

1. Asia Business 研究会 通年で2～3回開催（幹事 日経大 高橋文行）
8/18（児玉氏『インドビジネスの動向』）
2. Next Management展望研究会 通年で7回開催（幹事 山田先生/所長櫻井敬三）
4/21（企業訪問インタビュー調査）、
5/26（図書輪講『新生産性立国論』アトキンソン著）、
7/14（付加価値の創成について討議）、
9/22（山田先生発表『マエカワ流場所的経営（1）』）、
11/10（山田先生発表『マエカワ流場所的経営（2）』）、
1/26（真崎氏発表『品質が経営の与える影響』）、
3/16（郭・藤井両氏発表『家電製品におけるサービスデザイン戦略による脱コモディティ化モデル』）

・ 委託研究

1. 価値創造型企業を対象に「事業計画支援」コンサルティング 活動
5社支援

2017年計画と活動（終了）

2018年3月31日

《研究所組織》 ・ 2017年4月現在総勢で13名です。

櫻井敬三(大学院教授/本研究所長), 高橋文行(大学院教授/国際交流センター長)

近藤正幸特任教授, 内藤誠一特任教授, 小粥幹夫特任教授, 坂元耕三特任教授, 石山徹特任准教,

高田敬輔研究員, 鍛冶舎康昭研究員, 吉江勉研究員, 片岡敏光研究員, 黄八洙研究員, 安田知絵研究員

《2017年活動あらまし》

・ 科研費関係研究

- 1) 櫻井敬三(代表研究者) 中小製造企業の自主独立型企业への変身のための競争力強化 獲得メカニズム研究(15K03712) ※2017年度が最終年度

・ 他組織との連携研究

- 1) 公益社団法人日本VE協会 CVSフォーラム 内「アクティブラーニングへのVE適用研究会」

・ 当研究所主催のイベント開催

- 1) 第5回価値創造型企業支援研究所定例年次報告会 9月30日(土)終日開催 (幹事 櫻井敬三教授)
- 2) 2017年度Next Management展望研究会 7回実施 (4/15、5/20、6/24、7/22、9/15、1/20,3/18)
(幹事 櫻井敬三教授)

・ 他組織との連携によるシンポジウム開催

- 1) 企業価値を向上させる働き方改革フォーラム Work Shift Day 2017

【主催】 日本経済大学大学院 価値創造型企業支援研究所+株式会社福原イノベーション研究所

【開催日】 2017年8月25日(金) 10:50~16:00 (開場: 10:30)

【開催場所】 日本経済大学大学院246ホール

- 2) インフラメンテナンス技術者セミナー(第1回)

【主催】 インフラメンテナンス国民会議+日本経済大学大学院 価値創造型企業支援研究所

【開催日】 2017年12月19日(火) 15:10~18:00 (会場: 14:30)

【開催場所】 日本経済大学大学院246ホール

・ 図書出版

- 1) 「成功に導く中小製造企業のアジア戦略」文真堂 2017年9月30日発刊

※ 本研究所員 櫻井敬三・高橋文行・黄八洙・安田知絵 共著

(高橋文行(代表研究者) 中小製造企業を成功に導く海外進出の国際戦略(26380559)の活動報告)

・ 研究成果の報告および発表

- 1) 所長分で5本発表 (日本マネジメント学会(立正大)、日本経営診断学会(法政大)、日本創造学会(慶応大)、SAVE国際大会(アルカディア市ヶ谷)、研究・イノベーション学会(京大))

・ 所長講演 7回(日程と主催団体名のみ記載 詳細はPHの略歴詳細を参照ください。)

4/17 研究・イノベーション学会(東工大蔵前会館)、7/1 日本経営工学会(工学院大)、

7/10 公益社団法人日本VE協会(TACMINA多目的ホール)、7/28 静岡県交通基盤部(静岡県男女協同参画

センター大ホール)、8/25 Work Shift Day 2017(当大学246ホール)、9/5 インフラ国民会議フォーラム

(富士ゼロックスお客さま共創ラボ)、9/30 研究所定例年次報告会(当大学246ホール)

述べ75名の方々が参集され、活発な意見交換ができました。ありがとうございました

第5回『価値創造型企業支援研究所』定例年次報告会

今年度は、当研究所員からの話題提供後（20分程度）、参加者間でフリーディスカッションを行う形式にて実施します。したがって、下記時間にて終日実施といたします。ご興味のあるセッションへの参加をいただければ幸いです。参加費は無料です。

なお昼と夕方の懇親会は自由参加で自費（各1000円、5000円会費程度）にて参加ください。
（参加申し込みは sakurai@tk.jue.ac.jp 櫻井研究室まで お待ちしております。）

テーマ	:	日本社会を元気にするにはどうするか？
場所	:	日本経済大学大学院 10号館 1F 246ホール
日時	:	2017年9月30日（土曜日）10:00～17:30

開催にあたって（10:00～10:10） 所長 櫻井敬三

第1テーマ（10:10～11:30） 「中堅・中小企業を元気にするにはどうするか？」
— 海外進出戦略を中心に —

科研費研究成果図書（9月発刊）を基にディスカス予定
アジアビジネス研究会（当研究所内研究会）参加者とのコラボ
担当研究者：坂元耕三・高橋文行*・黄八洙・安田知絵・櫻井敬三

昼食タイム（11:30～12:30）（近傍レストランにて昼食（自由参加））

第2テーマ（12:30～14:00） 「IoT&AI時代のマネジメントは如何に？」
— 最新のセンシング技術動向と共創マネジメントを中心に —

ネクストマネジメント展望研究会（当研究所内研究会）とのコラボ
担当研究者：内藤誠一*・高田敬輔・高橋文行・櫻井敬三

小休憩（15分）

第3テーマ（14:15～15:45） 「創造性開発はどのように進めていくか？」
— 企画力が求められる時代の創造性開発のあり方を中心に —

等価変換理論学会・日本創造学会とのコラボ予定
担当研究者：鍛冶舎康昭・吉江勉・片岡敏光・櫻井敬三*

小休憩（15分）

第4テーマ（16:00～17:30） 「日本の教育は如何に進めるべきか？」

アクティブラーニングのVE適用研究会とのコラボ予定
担当研究者：近藤正幸・小粥幹夫*・石山徹・櫻井敬三

閉会にあたって 所長 櫻井敬三

懇親タイム（17:30～19:30）（近傍居酒屋にて懇親会（自由参加））

注記：氏名に*印ある研究者はセッションのリーダー（進行役と20分程度の話題提供）とします。以上

2016年計画と活動（終了）

《研究所組織》 ・ 2016年4月現在総勢で14名です。

大学院教授 兼 本研究所長	櫻井敬三
大学院教授 兼 国際交流センター長	高橋文行
特任教授（横浜国立大学名誉教授）	近藤正幸
特任教授（技術経営研究所長・元東京工業大学特任教授）	内藤誠一
特任教授（魅力と意欲の研究会代表・元東北大学特任教授）	小粥幹夫
特任教授（経済産業省製造産業局製鉄企画室長）	坂元耕三
特任准教授（東京農業大学 客員教授特定非営利活動法人文化教育科学研究所代表理事）	石山徹
研究員（ワイズ福祉情報研究所長）	高田敬輔
研究員（NPO法人日本創造力開発センター常務理事）	鍛冶舎康昭
研究員（唐木田コミュニケーションセンター運営協議会総務企画部会長）	吉江勉
研究員（パットブレイン代表取締役）	片岡敏光
研究員（経営行動研究所客員研究員）	黄八洙
研究員（日本大学経済学部中国・アジア研究センターリサーチャー）	安田知絵
研究員（日本経済大学大学院経営研究科博士後期課程）	佐藤政行

《2016年活動あらまし》

・ 科研費関係研究

1. 櫻井敬三（代表研究者）中小製造企業の自主独立型企业への変身のための競争力強化獲得メカニズム研究（15K03712）
 2. 高橋文行（代表研究者）中小製造企業を成功に導く海外進出の国際戦略（26380559）
他の研究者 当研究所 櫻井敬三・黄八洙・安田知絵、群馬大学 税所哲郎
- ※ 1項は2年目、2項は3年目最終年度の研究活動となります。

・ 2016年度 当研究所主催のイベント開催

- 1) 第4回価値創造型企業支援研究所定例年次報告会 10月15日終了（幹事 櫻井敬三教授）
- 2) 2016年度Next Management展望研究会 8/27、10/29、12/17、3/25（幹事 櫻井敬三教授）

・ 他組織との連携によるシンポジウム開催

- 1) 平成28年度NPO法人「SLIM Japan」講演会 12月16日終了（支援 鈴木泉副理事長）



産学官民 80 名の方々がご参集されました。
官公庁（国交省、地方行政執行者）、民間企業（建設土木、ソリューション、センシング、物流ほか）、大学関係者、市民が 80 名参加

・ 図書出版

- 1) 「ファジーフロントエンド活動による技術革新創成」文真堂 2017年1月10日発刊

※ 本研究所長 櫻井敬三 単著

日本創造学会著作賞（2017-2018）を受賞しました。

お蔭さまで30名の方々がご参集されました。お礼申し上げます。

第4回『価値創造型企業支援研究所』定例年次報告会

日本を元気にするために何をなすべきか？ PARTⅢ
—明るい未来の日本を構築するための道筋を探る—

日時 2016年10月15日（土） 午後1:00～5:00（受付開始12:30）

場所 日本経済大学大学院 10号館 1F 246ホール

（〒150-0031 渋谷区桜丘町25-17 JR渋谷駅南改札西口より歩道橋渡り3分）

費用 無料（申し込みは sakurai@tk.jue.ac.jp 櫻井研究室へ）

総合司会 櫻井敬三

《ごあいさつ》 1:00～1:05

丸4年を迎えた当研究所活動について 櫻井敬三 本学大学院同研究所長（教授）

《基調講演》 1:05～1:45

ネクスト・マネジメントの展開、わが国製造企業の生きる道

山田善教 氏 システム自動化研究所 所長

《研究報告》 科研費案件 2:00～3:40 （報告と質疑）

「中小製造業を成功に導く海外進出の国際戦略」

今後のあるべき方向指針、海外で奮戦する製造企業の紹介、海外進出先選択、海外企業のアプローチなどの報告



安田氏



黄先生



高橋先生

高橋文行 本大学国際交流センター長
櫻井敬三 本大学院本研究所長
黄八洙 本大学院本研究所員
安田知絵 本大学院本研究所員

《パネルディスカッション》 3:55～4:55 （フロアからの質疑応答含む）

明るい未来の日本を構築するための道筋を探る

パネラー 山田善教 氏 （システム自動化研究所 所長）

坂元耕三 氏 （経済産業省製造産業局金属課金属技術室長）

高橋文行 （日本経済大学大学院 教授）

司会 櫻井敬三 （日本経済大学大学院 教授）



坂元氏



山田氏と坂元氏



高橋先生と櫻井先生



櫻井先生

《本年度の総括》 4:55～5:00

4年間の活動を振り返って

櫻井敬三 本学大学院同研究所長（教授）

2015年 計画と活動 (終了)

本研究所発足4年目である。

《2015年活動実施状況》

・科研費関係研究 (1項はまとめ、2項・3項は研究調査中)

1. 櫻井敬三 (代表研究者) 2015年3月科研費終了
中小製造企業のコアコンピタンス形成と製品化過程に関する実証的研究 (24510210)
2. 高橋文行 (代表研究者) 中小製造企業を成功に導く海外進出の国際戦略 (26380559)
他の研究者当研究所 櫻井敬三・黄八洙・安田知絵 群馬大学 税所哲郎 (敬称略)
3. 櫻井敬三 (代表研究者) 中小製造企業の自主独立型企業への変身のための競争力強化獲得メカニズム研究 (15K03712) ※3項は2015年度採択されました。

・2015年度 当研究所主催・共催のイベント (場所は記載ないものはすべて10号館246ホール)

- 1) 第4回マイケル・ノーベル テクノロジー シンポジウム 5月21日 (木・午後)
(主催: NPO 未来アジア技術フォーラム 共催: 価値創造型企業支援研究所ほか4組織)
(幹事 内藤誠一 特任教授) 終了 (50余名が参加)
- 2) TOCFE 渋谷勉強会 10号館4F教室
第7回 8月27日 (木・夜間)、第8回 9月25日 (金・夜間)
(幹事 片岡敏光 研究員) 終了 (述べ15名参加)
- 3) 新技術による日中新事業創生のための技術交流会 10月7日 (水・午後)
(幹事 内藤誠一 特任教授) 終了 (30名参加)
- 4) 日米技術交流研究報告会 (テーマ: 米国の道路橋維持管理) 10月8日 (木・午前)
(幹事 櫻井敬三 教授) 終了 (75名参加)
- 5) 2015年渋谷価値創造塾フォーラム 10月29日 (木・終日) 終了
(幹事 櫻井敬三 教授) 終了 (45名参加)
- (2015年度 世代間コミュニケーションフォーラム 終了 (述べ25名参加)
1回目 7月18日 (土・午後) 終了 2回目 8月29日 (土・午後) 終了 4F教室)
- 6) 第3回価値創造型企業支援研究所定例年次報告会 11月7日 (土・午後) 終了
(幹事 櫻井敬三 教授) 終了 (40名参加)
- 7) 2015年度 Asia Business 研究会 第7回~第12回 通年開催 10号館3F会議室
(幹事 高橋文行 教授) 終了 (各10~15名参加)

《その他》

- 櫻井所長が講演 (3月12日、3月20日、9月20日、10月7日、10月28日、11月7日、12月15日、1月16日、3月5日)
- 本研究所として社会への情報公開を行う。(櫻井所長分として3学会6論文を発表)

以下 その一部活動骨子を掲載します。

40名の方々がご参集され、活発な質疑応答がなされました。

第3回『価値創造型企業支援研究所』定例年次報告会

日本を元気にするために何をなすべきか？ PART II
—明るい未来の日本を構築するための道筋を探る—

日時 2015年11月7日（土） 午後12:50～5:00 （受付開始12:30）

場所 日本経済大学大学院 10号館 1F 246ホール （次頁地図参照）
（〒150-0031 渋谷区桜丘町25-17）

費用 無料 （先着80名 申し込みは sakurai@tk.jue.ac.jp 櫻井研究室へ）

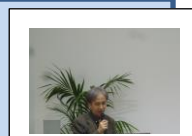
内容 総合司会 高橋文行 ☆教授

《ごあいさつ》 12:50～1:00

丸3年を迎えた当研究所活動について 櫻井敬三☆ 本学大学院同研究所

《基調講演1》 1:00～1:45

日本製造企業の途上国での初挑戦と成功の横展開
近藤正幸 氏☆ 横浜国立大学大学院教授



《基調講演2》 2:00～2:45

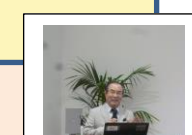
ソニー井深大の創業者スピリット 田村新吾 氏 （株）ワンダーワークス代表



《研究報告》 科研費案件 3:00～3:40 （各20分）

1) 中小製造企業の自主独立型企業への変身のための競争力強化獲得メカニズム研究報告
櫻井敬三☆ 日本経済大学大学院教授

2) 中小製造業を成功に導く海外進出の国際戦略研究報告
高橋文行☆ 日本経済大学大学院教授



《活動報告》 3:50～4:50 （各15分）

1) 2015年渋谷価値創造塾フォーラムの活動報告 （7月～10月）
上野 孝 氏 上野バリューマネジメント研究所長

2) マイケル・ノーベル技術シンポジウムの活動報告 （5月）
内藤誠一 氏☆ 技術経営研究所長
NPO 法人未来アジア技術フォーラム 副理事長

3) アジアビジネス研究会の活動報告 （5月～10月）
黄 八洙 氏☆ 東京国際大学非常勤講師

4) 創造的価値創生の支援活動報告 （8月～9月）
TOCFE渋谷勉強会 片岡 敏光 氏☆ （株）パットブレン 代表取締役

☆印は研究所所属者を示す。し

《本年度の総括》 4:50～5:00

3年目の活動を振り返って 櫻井敬三☆ 本学大学院同研究所長

最後までおられた方々と一緒に
記念撮影



2015年渋谷価値創造塾フォーラム

人・職場・地域を元気にするコミュニケーション

日時 2015年10月29日(木) 10:00~16:30 参加費無料
場所 日本経済大学 大学院 10号館 1F 246ホール
主催 日本経済大学 大学院 附属価値創造型企業支援研究所 渋谷価値創造塾
共催 上野 VM 研究所 湘南価値創造塾
実行委員会 2015年渋谷価値創造塾(櫻井,上野,道広,鈴木,澤,足立,橋本,森下,天満,吉田)

第1部 講演 (10:00~12:10)

総合司会 (櫻井敬三 実行委員長 (主催研究所所長(大学院教授)))

- 講演1 「目標はアクティブラーナー! ~チーム作り講座実践報告~」 (30分)
杉山比呂之氏 (専修大学附属高等学校教諭)
- 講演2 「コミュニケーションの基礎 -心の構造と領域-」 (30分)
吉江勉氏 (ノーベルファーマ株式会社 顧問 (元会計検査院))
- 講演3 「幸福学の観点で世の中を元気に -実践・幸福学入門-」 (60分)
前野隆司氏 (慶應義塾大学大学院システムデザイン・マネジメント研究科委員長・教授)

第2部 パネル討論 (13:00~16:15)

それぞれの分野の第一線で活躍中のパネリストと参加者の皆さんが一体となって問題の本質を共有し
解決策について積極的な意見交換をして頂く場とします。

討論1 「世代間コミュニケーションの課題解決に向けて」 (13:00~14:30)

社会を構成するそれぞれの世代の考え方についてパネリストから提起頂き、
今後に向けてのあり方について会場の皆さんと意見交換をする場とします。

- パネリスト「シニア世代代表」 (鈴木 泉氏 NPO スリムジャパン副理事長)
パネリスト「ミドル世代代表」 (杉山比呂之氏 専修大学附属高等学校教諭)
パネリスト「ヤング世代代表」 (新関康平氏 任意団体 Devase (ディベース))
司会 (足立忠郎 実行委員)

討論2 「実践コミュニケーションの課題解決に向けて」 (14:45~16:15)

行政分野・民間分野 で課題解決ワークショップ活動等に取り組んでこられた経験から
課題の本質を提起頂き、今後に向けてのあり方について会場の皆さんと意見交換をする場とします。

- パネリスト「国土交通省事業所」 (澤 健男氏 所長)
パネリスト「福山市建設局」 (大濱愛弓氏 福山市建設局土木部港湾河川課 技師)
パネリスト「教員志望の大学生」 (森下真穂氏 専修大学文学部4年)
司会 (上野 孝 実行副委員長)

第3部 フォーラム宣言の発表 (16:15~16:30)

今回のフォーラム終了にあたり、参加者の皆さまと討議してきた内容を宣言としてまとめ、
これからの行動指針とし 世の中に発信していきたいと思えます。

2015年度 Asia Business 研究会

各会場は日本経済大学 大学院 10号館 3F 会議室にて開催しました。

- 第7回 日 時： 5月9日（土）13：00～15：00 終了
テーマ：「事例に学ぶ中国進出日系企業の事業展開
－中国内陸部と東アジア新興国の立地戦略を中心に－」
発表者： 日本経済大学大学院 高橋文行 准教授
- 第8回 日 時： 6月27日（土）13：00～15：00 終了
テーマ：「グローバル生産を支えるチームワークマネジメントの構築と検証」
発表者： 玉川大学 野渡正博 名誉教授
- 第9回 日 時： 7月11日（土）13：00～15：00 終了
テーマ：「中国に進出した中小製造業の成功のパターン」
発表者： 敬愛大学 藪内正樹 教授
- 第10回 日 時： 10月17日（土）13：00～15：00 終了
テーマ：日本企業の海外進出の立地決定要因：中国とベトナムのケース
発表者：日本大学経済学部助手 羽田 翔 氏
- 第11回 日 時： 12月 5日（土）13：00～15：00 終了
テーマ：直近のミャンマーについて
発表者：コスモブリッジ（株） 代表取締役 河野順一 氏
(ミャンマージャパンセダ東京 代表理事)
- 第12回 日 時： 1月16日（土）13：00～15：00 終了
テーマ：日本の中小製造企業の東アジア地区への海外生産進出をどう考えるか
発表者：日本経済大学大学院 櫻井敬三 教授

2015年度 世代間コミュニケーションフォーラム

各会場は日本経済大学 大学院 10号館 4F 講義室にて開催しました。

- 1回目 7月18日（土）（大学院10号館4F講義室1） 13:30～17:00 終了
- 2回目 8月29日（土）（大学院10号館4F講義室1） 13:30～17:00 終了

2014年 計画と活動 (終了)

本研究所発足3年目である。

《実施状況》

- ・組織強化 2014年4月に1名を増員しました。
- ・現在総勢で14名となりました。下記に全メンバーの紹介をします。

大学院 教授 兼 本研究所長	櫻井 敬三
大学院 准教授 (2015年7月より教授)	高橋 文行
特任教授 (横浜国立大学教授)	近藤 正幸
特任教授 (技術経営研究所長・前東京工業大学特任教授)	内藤 誠一
特任教授 (魅力と意欲の研究会代表・前東北大学特任教授)	小粥 幹夫
特任教授 (経済産業省 貿易経済協力局室長) 2015年7月より製造産業局製鉄企画室長	坂元 耕三
特任准教授(特定非営利活動法人 文化教育科学研究所代表理事)	石山 徹
2015年4月より東京農業大学客員教授	
研究員 (ワイズ福祉情報研究所長)	高田 敬輔
研究員 (NPO 法人日本創造力開発センター常務理事)	鍛冶舎 康昭
研究員 (唐木田コミュニケーションセンター運営協議会総務企画部会長)	吉江 勉
研究員 (パットブレン代表取締役)	片岡 敏光
研究員 (経営行動研究所客員研究員)	黄 八洙
研究員 (日本大学経済学部 中国・アジア研究センターリサーチャー)	安田 知絵
研究員 (日本経済大学大学院経営研究科博士後期課程)	佐藤 政行

《2014年活動あらまし》

・科研費関係研究

1. 櫻井敬三 (代表研究者)

中小製造企業のコアコンピタンス形成と製品化過程に関する実証的研究 (24510210)

2. 高橋文行 (代表研究者) 中小製造企業を成功に導く海外進出の国際戦略 (26380559)

※1項は最終年度で大掛かりなアンケート調査を終了。2項は2014年度採択されました。

・2014年度 当研究所主催・共催のイベント

- 1) 第3回マイケル・ノーベル・エネルギー技術シンポジウム 10月1日(水) 12:30~17:20 246ホール
(主催: NPO 未来アジア技術フォーラム 共催: 価値創造型企業支援研究所ほか3組織)
アジアの再生可能エネルギー利用を考える産学官国際交流です
- 2) 2014 V E 全国大会マイルズ賞受賞記念フォーラム 10月30日(木) 9:30~15:30 246ホール
(主催: 価値創造型企業支援研究所 後援: 公益社団法人日本 V E 協会、上野 V M 研究所)
行政機関の V E 取り組む状況の紹介と今後の公共 V E 普及発展の方向性を考える。
- 3) 第2回価値創造型企業支援研究所定例年次報告会 11月22日(土) 13:00~17:00 246ホール
日本を元気にするために何をなすべきか?—日本の未来を切り開く中小製造企業の検証と実践—
- 4) 2014年度 Asia Business 研究会 第1回~第6回 通年開催 10号館3F会議室

《その他》 —櫻井所長が講演(5月16日, 7月26日, 10月30日, 11月22日)実施。

- 本研究所として社会への情報公開を行う。(櫻井所長分として5学会で8論文を発表。)
- 当研究所は4月1日より日本創造学会の賛助会員になり、学会HP上で紹介されています。

第2回価値創造型企業支援研究所定例年次報告会

2014年11月22日(土)午後 当大学246ホール

日本を元気にするために何をなすべきか？

—日本の未来を切り開く中小製造企業の検証と実践—

日時 2014年11月22日(土) 午後1:00~5:00 (受付開始12:30)

場所 日本経済大学大学院10号館1F 246ホール

内容 総合司会 高橋文行 准教授

《基調講演》 1:00~1:45

世界の頭脳を活用した日本製造企業の新ビジネス展開

近藤正幸 (横浜国立大学 大学院 教授)



《報告》 科研費案件の発表 1:45~3:00

1) 中小製造企業のコアコンピタンス形成と製品化過程に関する研究報告

櫻井敬三 (日本経済大学 大学院 教授)



2) 中小製造業を成功に導く海外進出の国際戦略研究報告

高橋文行 (日本経済大学 大学院 准教授)



《パネルディスカッション》 3:15~5:00

パネラー 浜野慶一 (株式会社浜野製作所 代表)

山田吉郎 (株式会社テクノス 代表)

坂元耕三 (経済産業省 貿易経済協力局 室長)

アジテーター 櫻井敬三 (日本経済大学 大学院 教授)



2014 V E 全国大会マイルズ賞受賞記念フォーラム

2014年10月30日(木) 9:30~15:30 当大学 246 ホール

(主催：価値創造型企業支援研究所 後援：公益社団法人日本 V E 協会、上野 V M 研究所)

行政機関の V E 取り組む状況の紹介と今後の公共 V E 普及発展の方向性を考える。

開催目的：日本 V E 界の最高の賞であるマイルズ賞を受賞された行政機関の取り組み状況を広く関係者に紹介し今後の公共 V E 普及発展の一助となる事を目的に開催いたします。

主催：日本経済大学大学院価値創造型企業支援研究所

後援：公益社団法人日本バリュー・エンジニアリング協会
上野バリュー マネジメント 研究所

日時：2014年10月30日(木) 午前10時~午後3時 会場受付 9:30~

会場：日本経済大学大学院棟10号館 246ホール (JR渋谷駅より徒歩3分)

対象者：公共 V E に関心のある行政関係者・民間企業・社会人・学生 100名(先着順)

参加費：無料 (ただし終了後の情報交流会参加者は実費 3000円をご負担願います)

【プログラム内容】

第1部 講演 (10:00~12:00) 各25分講演後質疑応答5分 講師敬称略

1. 市場価値の創生こそ V E の原点 櫻井敬三(日本経済大学大学院教授)
2. 公共農業分野における V E の取り組み 竹中一行(一般財団法人日本水土総合研究所 主任研究員)
3. 地方自治体における V E の取り組み 中谷孔右(静岡県交通基盤部土木事務所課長)
4. 人生を豊かにする V E の実践と可能性 木津広美(株式会社ファインズ代表取締役)

昼食休憩 (12:00~12:30)

5. 講師を囲んでのテーブル別情報交換会 (12:30~13:30)

参加者は希望のテーブルにご参集下さい。

第2部 パネル討論 (13:30~15:30)

パネル討論1：「公共事業設計 V E の実践と要点」

パネリスト (公共設計 V E 実践関係者+コーディネーター1名)

パネル討論2：「業務改善ソフト V E の実践と要点」

パネリスト (業務改善 V E 実践者+コーディネーター1名)

15:30 閉会

16:00~18:00 情報交流会

(会場付近のレストランで)参加希望者は(実費 3000円)を当日お支払い下さい。

2014年度 Asia Business 研究会

第1回

日時：5月31日（土）13：00～15：00

テーマ：「東アジアにおける ICT 産業の最近の動向－ミャンマーの ICT 産業の実態と課題－」

発表者：群馬大学社会情報学部教授 税所哲郎

第2回

日時：6月28日（土）13：00～15：00

テーマ：「アジア市場開拓に向けたビジネス課題と戦略－中国、マレーシア、ベトナム、カンボジアの現地調査報告と考察－」

発表者：日本経済大学大学院准教授 高橋文行

第3回

日時：7月26日（土）13：00～15：00

テーマ：「中小製造業が中国でビジネスをする条件－事例紹介を中心に－」

発表者：日本経済大学大学院教授 櫻井敬三

第4回

日時：10月4日（土）13：00～15：00

テーマ：「韓国企業のモンゴル進出の現況と課題：人材育成に関する現地調査を踏まえて」

発表者：経営行動研究所客員研究員 黄八洙氏

第5回

日時：11月1日（土）13：00～15：00

テーマ：「中国の経済発展における辺境地域の役割－大図們江地域を中心に」

発表者：日本大学経済学部 中国・アジア研究センターリサーチャー 安田知絵氏

第6回

日時：1月24日（土）13：00～15：00

テーマ：「アジアにおける日系企業の人材育成の現状と動向」

発表者：和光大学経済経営学部長 鈴木岩行教授

※2013年度実施の「外資企業に関する研究会」を発展解消し、「アジアビジネス研究会」に改組しました。

2013年 計画と活動 (終了)

本研究所発足2年目である。

《実施状況》

・組織強化 2013年4月に3名、同年10月に1名、2014年1月に1名の計5名を増員しました。

・研究所員氏名 (追加メンバー(敬称略)を含め13名となった。)

メンバー	特任教授	(技術経営研究所長、 前東京工業大学特任教授)	内藤 誠一
	特任教授	(魅力と意欲の研究会代表、 前東北大学特任教授)	小粥 幹夫
	研究員	(日本橋学館大学非常勤講師)	黄 八洙
	研究員	(日本大学大学院経済学 研究科博士後期課程)	安田 知絵
	研究員	(日本 TRC 株式会社)	佐藤 政行

《2013年活動あらまし》

(1) 中堅・中小企業の自主独立開発型企業への脱皮プログラムの策定と支援

－国内外のインタビュー調査実施

－2014年度はじめにアンケート調査を実施予定

(2) 海外進出日系企業の地場企業との協労による技術伝播に関する研究

－ベトナム・マレーシアにインタビュー調査実施(9月8日～21日)

－カンボジア(2月18日～2月22日)・中国(2月27日～3月7日)インタビュー調査実施

－「外資企業に関する研究会」を6月発足。海外経験者を中心に発表・質疑応答
毎月第一土曜日に実施。今期中7回開催した。

(3) 創造的社員育成や創造的組織構築の基礎的研究とそのプログラム策定と支援

－2014年度心理学的計測法と生物学的計測法の実験計画を立案し工学部と共同研究準備。

－TOCfE 渋谷勉強会を4月発足。都合6回開催した。

(4) 価値創造を実現するためのVEワークショップセミナーの開講

－産学連携事業として「商品開発企画書・事業計画書作成サービス」を東京商工会議所
渋谷支部を中心に5月より開始(1ジョブが進行中)

(5) その他

－櫻井所長が講演(10月18日, 12月13日, 12月16日, 1月20日, 3月8日)実施。

－本研究所として社会への情報公開を行う。(櫻井所長分として5学会で9論文を発表。)

－11月30日(土)に第1回定例年次報告会(日本経済大学246ホールにて)を実施37名
来場され、講演・発表後、活発な質疑応答がなされた。(実施済)

2013 年実施済活動ご紹介

第 1 回定例年次報告会 終了 次ページ詳細

日時 2013 年 11 月 30 日 (土) 13:00~18:00

会場 日本経済大学大学院 10 号館 1F 246 ホール

お陰様で終了

しました。

外資企業に関する研究会 第 1 土曜日 13:00~:15:00

(現 Asia Business 研究会)

(11 号館 6F 櫻井研究室)

第 1 回 2013 年 6 月 1 日 (土) 終了 黄八洙講師、安田知絵様

第 2 回 2013 年 7 月 6 日 (土) 終了 高橋文行准教授

第 3 回 2013 年 8 月 3 日 (土) 終了 岡崎邦明様 アルゴソフト代表

第 4 回 2013 年 9 月 7 日 (土) 終了 丑山幸夫准教授

第 5 回 2013 年 10 月 5 日 (土) 終了 櫻井敬三教授

第 6 回 2014 年 2 月 1 日 (土) 終了 叶 芳和教授

第 7 回 2014 年 3 月 15 日 (土) 終了 野口武幸 TM 研究所所長

TOCfE 渋谷勉強会 第 3 土曜日 1:30~4:30(10 号館 3F 会議室)

第 1 回 2013 年 4 月 27 日 (土) 終了 講師 長谷川公彦様

第 2 回 2013 年 6 月 22 日 (土) 終了 (TOC f E 国際認定)

第 3 回 2013 年 8 月 31 日 (土) 終了

第 4 回 2013 年 9 月 21 日 (土) 終了

第 5 回 2013 年 10 月 19 日 (土) 終了

第 6 回 2013 年 11 月 16 日 (土) 終了



価値創造型企業支援研究所 第1回定例年次報告会

今問われる日本の針路『岐路に立つ日本をどうすればよいのか』

— 国・企業・人々が今できることは何か その実証的研究成果の報告 —

開催日 平成25年11月30日(土) 13:00~18:00 (休憩2回含む)

場所 日本経済大学 大学院 10号館 1F 246ホール (渋谷キャンパス)

報告会の式次第 (司会 前半:櫻井、後半:高橋)

1. 開会にあたって 価値創造型企業支援研究所長(教授) 櫻井敬三
2. 基調講演Ⅰ「グローバル化の進展と日本企業のグローバル・イノベーション」
横浜国立大学 大学院 教授 (本学大学院同上研究所特任教授) 近藤正幸
3. 基調講演Ⅱ「産業技術政策からみた日本の製造業」
経済産業省貿易局経済協力局・安全保障貿易検査官室長
(本学大学院同上研究所特任教授) 坂元耕三
4. グローバル化対応は人的交流のあり方でWin-Winの関係性が決まる
平成25年度開始『外資企業に関する研究会 中間報告』
日本経済大学 准教授 (本学大学院同上研究所準構成員) 高橋文行
日本橋学館大学非常勤講師 (本学大学院同上研究所研究員) 黄 八洙
日本大学大学院経済学研究科博士課程後期 (同上研究所研究員) 安田知絵
休 憩 (20分)
5. ある地域コミュニティの現状と人づくり
唐木田コミュニティセンター運営協議会 総務企画部会長
(本学大学院同上研究所研究員) 吉江 勉
6. 「高専ロボコンで育む能力 VS 企業の期待する能力」の考察
ワイズ福祉情報研究所 所長 (本学大学院同上研究所研究員) 高田敬輔
NPO 法人日本創造力開発センター常務理事 (同上研究所研究員) 鍛冶舎康昭
7. 様々な対立問題・矛盾問題を解消し企業価値を高めるには
— TOCfE 渋谷勉強会を通して —
(株)パットブレン 代表取締役 (本学大学院同上研究所研究員) 片岡敏光
8. 中堅・中小企業が自主独立開発型企業へ脱皮するためにはどうすべきか
日本経済大学 大学院 教授 (本学大学院同上研究所所長) 櫻井敬三
休 憩 (20分)
9. 技術講演 「太陽光を利用した新システムとその活用」
技術経営研究所 所長(前東京工業大学 特任教授)
(本学大学院同上研究所特任教授) 内藤誠一
10. 閉会の辞 価値創造型企業支援研究所長(教授) 櫻井敬三



近藤氏



坂元氏



高橋氏



吉江氏



高田氏



片岡氏



内藤氏



櫻井氏



←最後までおられた方々との記念撮影
同時期の紅葉です。(横浜三溪園)→



2012年 計画と活動 (終了)

本研究所発足1年目である。

《実施状況》

- ・ 組織づくり 2012年7月に研究所設立趣旨書策定承認
 - ・ 研究所員決定 2012年7月～8月に人選しご本人の了解取り付け (8名) 敬称略
- | | | | |
|------|------|--|--------|
| メンバー | 所長 | (日本経済大学 大学院教授) | 櫻井 敬三 |
| | 特任教授 | (横浜国立大学教授) | 近藤 正幸 |
| | 特任教授 | (経済産業省 貿易局室長) | 坂元 耕三 |
| | 研究員 | (ワイズ福祉情報研究所長) | 高田 敬輔 |
| | 研究員 | (NPO 法人日本創造力開発
センター常務理事) | 鍛冶舎 康昭 |
| | 研究員 | (唐木田コミュニケーション
センター運営協議会総務
企画部会長) | 吉江 勉 |
| | 研究員 | (パットブレン代表取締役) | 片岡 敏光 |
| 準構成員 | | (日本経済大学 准教授) | 高橋 文行 |

- ・ 第一回全体会議 2012年11月13日に「今後の活動内容と行動計画」検討と承認

《研究所の5カ年活動計画》

- ・ テーマ 日本企業が活力ある組織体になるためのメカニズムを研究しその成果を実践する。
- ・ 活動 日本企業は元気を取り戻す手立てを企業とともに考え実行支援プログラムを策定しその支援・育成を行う。具体的には下記4項を重点に行う。
 - (1) 中堅・中小企業の自主独立開発型企業への脱皮プログラムの策定と支援
 - (2) 海外進出日系企業の地場企業との協働による技術伝播に関する研究
 - (3) 創造的社員育成や創造的組織構築の基礎的研究とそのプログラム策定と支援
 - (4) 価値創造を実現するためのVEワークショップセミナーの開講
- ・ 報告会 毎年11月に年間活動報告を実施する。さらに中堅・中小企業の支援活動成果が出た場合には9月に発表会を実施する。

《2012年後期活動あらまし》

- ・ 活動(1)は科研費取得案件であり、別研究計画に基づき実施した。
- ・ 活動(3)は知的財産マネジメント研究会で櫻井所長が講演(2013年2月9日)を行った。
- ・ 活動(4)は公益社団法人日本VE協会からVE-WSS認定を取得(2012年10月2日)した。
- ・ その他大阪府大竹崎氏、荒川区牛山氏との中小企業支援勉強会(2013年3月5日)実施した。
- ・ その他 図書出版
櫻井敬三他共著 創造的変革の探究 中央経済社 第3章 創造性の能力評価と創造性開発